

承認番号	3017
研究課題名	胃癌における免疫・栄養指標の意義
研究の意義・目的	最近、胃癌における術後合併症や予後の予測因子としてNeutrophil-to-lymphocyte ratio, Glasgow prognostic score, Prognostic nutritional index, Platelet-to-lymphocyte ratio, C-reactive protein-to-albumin ratio, Prognostic index, Controlling nutritional status (CONUT)などの免疫・栄養指標の有用性が報告されてきた。しかしながら、どの因子が最も有用か、最適なカットオフ値はどれかなど明らかにされていない問題も多い。R0切除が行われた胃癌症例における術後合併症および予後予測因子としての免疫・栄養指標の意義について比較検討するために本研究を実施する。
研究期間	倫理委員会承認後～2019年3月31日
研究対象者の範囲	1997年1月から2012年12月に間に、大阪公立大学医学部附属病院の消化器外科（旧第一外科）で胃癌に対して根治切除術を施行したStage II胃癌の患者さまが対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	血液検査データ、病理検査結果、診療記録
利用者の範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 自施設のみ <input type="checkbox"/> 共同研究機関に試料・情報を提供する → 「共同研究機関の情報」にも記載が必要 <input type="checkbox"/> 共同研究機関から試料・情報の提供を受ける → 「共同研究機関の情報」にも記載が必要 <input type="checkbox"/> 自施設が共同研究の代表施設である <input type="checkbox"/> 他施設が共同研究の代表施設である → 「代表施設のURL」を記入してください。 <input type="checkbox"/> 試料・情報を公表する → 「試料・情報を公表する方法」を記入してください。
研究機関の情報	該当なし
代表施設のURL	該当なし
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	豊川 貴弘
試料・情報を公表する方法	該当なし
試料・情報の提供方法	該当なし
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	豊川 貴弘 大阪公立大学大学院 腫瘍外科学 〒545-8585 大阪府大阪市阿倍野区旭町1-4-3 TEL：06-6645-3838（代表） FAX：06-6646-6450